

プノンペン市内観光（ツールスレン／ウナロム・パゴダ／日本橋）

*ツール・スレン＜ポルポト虐殺記録博物館＞（TOUL SLENG MUSEUM）



＜ツールスレン内の建物＞

- ・月曜休館
- ・開館時間：午前 0800—1130
午後 1330—1640
- ・入場料（御一人様）：US\$ 2. —



＜虐殺された犠牲者の記録用写真＞

シアヌーク時代にリセ（中・高等学校）だったこの建物は、1975年から79年のポルポト政権時代、実に1万7千人以上もの人々が強制的に送られ、その殆どが犠牲になるという同時代を通じて最も悲惨な収容所のひとつで、現在はポルポト虐殺記録博物館になっています。

ここでは、教室を改造した拷問室や独房、拷問や処刑に使用された道具類、犠牲者の写真や当時の拷問、処刑の様子を描いた絵などが展示されています。

*ウナロム・パゴダ（UNALOM PAGODA）



カンボジアで一番格式の高い寺院。1990年より日本人僧侶岩井修さんが住みついています。
1993年4月コンポン・トム州で殺害された、国連選挙監視ボランティアの中田厚仁さんの遺体もここで荼毘に付されました。
ここでは、バイヨン様式の寺をご覧ください。

*日本橋（CHYOY CHANGVA BRIDGE）

1963年のシアヌーク時代に日本政府の援助により建設。1973年のロン・ノル政権とクメール・ルージュとの内戦時に破壊されましたが、1992年日本政府の援助により再建され、1994年1月に開通。全長800mのこの橋は、主にゴムやたばこなどの農作物をコンポンチャム州からプノンペン市に運ぶ重要な役割をしています。通称日本橋。殆どのツアーでは王宮前観光時にトンレサップ河沿いの公園より眺める程度ですが、時間的余裕がある場合は、車で同橋を渡って、キエン・クリエン島まで行きます。

